

令和3年度

相談支援

就業支援

セミナー

▶▶▶ オンデマンド配信

テーマ

## 今こそ“つながり”を確認する

～相談支援から、人とつながり、  
福祉・就労へとつながり、地域へとつながる～

趣  
旨

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度のセミナーはオンデマンド配信で開催いたします。コロナ禍により、マスクや消毒等の感染対策や感染拡大防止のためのディスタンス(距離)の確保、不要不急の外出自粛など、生活面での制約や不安が多く、少なからず自分らしい生活を送ることができにくい状況にあり、障害の有無にかかわらず、生活の質の低下に伴う様々な課題が顕在化してきています。本セミナーのテーマは“つながり”ですが、このような状況だからこそ、日頃の支援における“つながり”に焦点を当てることとしました。

障害福祉制度の変遷を振り返ると、施設を中心とした支援体制から、地域で生活することに重きを置いた支援へと移り変わり、今日では様々な福祉サービスを利用しながら地域で生活する方が少しずつ増えています。

特に、障害のある方が福祉サービスの利用や企業等への就労を目指す際に最初に関わりをもつ相談支援事業所や障害者就業・生活支援センターは、障害のある方と福祉サービスや企業の架け橋になっていますが、今後は今以上にソーシャルワークの視点に基づき、利用者を取り巻く社会環境全体に目を向けて働きかけることが必要になるのではないのでしょうか。

こうした背景を踏まえ、本セミナーでは、地域で障害のある方が安心して暮らすために相談支援事業所や障害者就業・生活支援センターが果たしている役割や専門性をあらためて確認しつつ、働くことを支える地域づくりの実践や災害に備える平時の相談支援事業所の役割、既存の枠組みを越えた取り組み等について、実践報告やディスカッションを通じて学びを深める中で、あらためて“つながり”について再確認します。

コロナ禍で大変な折ではありますが、本セミナーが相談支援や就業支援の現場で働かれている方々の一助となれば幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

主催

公益財団法人 日本知的障害福祉協会 相談支援部会

開催方法

オンデマンド配信 (動画配信用サイトにて視聴)

視聴期間

令和3年11月25日(木) ~ 12月10日(金)

対象

障害児・者の相談支援・就業支援に携わる関係職員等

参加費  
(視聴料金)

8,000円(会員) 11,000円(一般)

# プログラム

## I 開会挨拶・趣旨説明——(15分)

## II 行政説明——(60分)

### 今後の相談支援の方向性について（仮題）

厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課（予定）

## III 基調講演——(60分)

### 相談支援、就業・生活支援センターの目指すべき方向性とは ～地域の中での役割をあらためて考える～

島村 聡 氏（沖縄大学 人文学部教授（地域研究所長））

プロフィール

平成10年から現在まで厚生労働省の相談支援専門員養成に携わり、また厚生労働科学研究にて相談支援専門員の育成や就労定着支援に関する研究に関わる。沖縄県内では自立支援協議会による圏域相談支援体制の発展に取り組んできた。現在は貧困など多くの課題を抱えた子どもの重層的な相談支援体制を県全域で構築することに取り組んでいる。

## IV メインディスカッション——(90分)

### 相談支援から、人とつながり、 福祉・就労へとつながり、地域とつながる

生きていくには、どのような形であれ、人との“つながり”が不可欠です。障害のある方にとって、相談支援は、その“つながり”の中核を担っていると言っても良いでしょう。そのため、相談支援には、福祉サービスの利用や就労を希望する方への支援等、制度内に限った支援にとどまらず、インフォーマルなつながりも含め、利用者を取り巻く社会環境全体に目を向けて働きかけるソーシャルワークの視点を持って展開していくことが求められます。

障害のある方が様々な人々、福祉や就労、そして地域とつながり、心のゆとりを持ちながら豊かな生活を送るために、相談支援の役割をあらためて見つめ直すとともに、今後の展望を語り合います。

パネリスト ▶ 柏 美樹 氏（特定非営利活動法人障がい者のあすの福祉をよくする三浦市民の会びあ三浦 就労・生活サポートセンター三浦 管理者兼サービス管理責任者）

パネリスト ▶ 千代丸智也 氏（社会福祉法人十百千会 宇城圏域障がい者基幹相談支援センターきょうせい センター長・主任相談支援専門員）

助言者 ▶ 島村 聡 氏（沖縄大学 人文学部教授（地域研究所長））

司会・進行 ▶ 富岡 貴生 氏（社会福祉法人唐池学園 貴志園・相談センターゆいま～る 相談支援専門員／日本知的障害者福祉協会 相談支援部会長）（敬称略）

※諸事情によりプログラム・登壇者を変更する場合があります。

## V

## セッション1

## “働きたい”を支える地域づくり

障害のある方を働くことへとつなぎ、支える、障害者就業・生活支援センター（以下、センター）は、全国に336か所設置（令和3年4月1日現在）されており、制度開始よりまもなく20年の節目を迎えますが、期待される役割は当初より幅広くなっています。

本セッションでは、今後の就労支援の行方を確認するとともに、一般就労への更なる移行促進や就労定着支援の拡充、雇用・福祉・教育施策の連携強化等が求められる中、障害のある方をニーズに沿った働く場へとつなぎ支えるセンターに期待される役割や、障害のある方の“働きたい”を支えるつながりの重要性について、相談支援事業所、就労継続支援事業所、センターの各々の立場からの実践報告とディスカッションを通じて理解を深めます。

## ①行政説明（60分）

## 「就労支援のこれからの在り方」（仮題）

厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課（予定）

## ②実践報告・ディスカッション（80分）

## 「“働きたい”を支える地域づくり」

パネリスト ▶ 平岡 優子 氏（社会福祉法人京都ライフサポート協会 しょうがい者生活支援センターあん 相談支援専門員）

パネリスト ▶ 志賀 正幸 氏（社会福祉法人つかさ会 諫早ワークス 管理者／生産活動・就労支援部会副部会長）

パネリスト ▶ 中島 哲朗 氏（社会福祉法人あしーど 障害者就業・生活支援センターしゅーと 副所長）

司会・進行 ▶ 中村 文久 氏（社会福祉法人明光会 サポートセンターコンパス北斗 相談支援専門員）（敬称略）

## VI

## セッション2

## 一人ひとりが備える災害対策

## ～平時における“つながり”の重要性と相談支援の役割～

地震や大雨・長雨などによる自然災害が頻発している昨今、各施設・事業所ごとに業務継続計画（BCP）の作成が令和6年度から義務付けられます。防災には福祉サービス従事者等に限らず、平時におけるインフォーマルなつながり等も含めた日頃の備えが大切です。

本セッションでは、災害発生時においても障害のある方が地域で安心・安全な暮らしを継続できるよう、平時のつながりの重要性を再確認するとともに、日頃から災害対策として当事者と共に備える際に必要なこと等について学びます。さらに、実際に災害を経験した支援者や家族の話から、相談支援事業者として日頃からどのように関わっていくべきか議論し、理解を深めます。

## ①基調講演（60分）

## 「障がい事業者のBCP作成に向けて～平時のつながりを災害時に活かす～」

鍵屋 一 氏（跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授）

## ②ディスカッション（80分）

## 「一人ひとりが備える災害対策 ～平時における“つながり”の重要性と相談支援の役割～」

パネリスト ▶ 善川 夏美 氏（社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会 副会長 親の会代表）

パネリスト ▶ 一丸 善樹 氏（社会福祉法人三矢会 太田川学園障害者相談支援事業所リガーレ 所長兼主任相談支援専門員／相談支援部会委員）

パネリスト ▶ 遠藤 智一 氏（社会福祉法人玉柏会 相談支援事業所すずらん 管理者兼相談支援専門員）

助言者 ▶ 鍵屋 一 氏（跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授）

司会・進行 ▶ 戸田 健一 氏（NPO法人たねっと 障がい者相談支援センター夢民 地域づくりコーディネーター／相談支援部会委員）（敬称略）

## 参加申し込み方法

下記のURLまたは右の二次元バーコードより  
申し込み専用サイトに接続し、必要事項をご入力の上、  
**10月29日(金)まで**にお申し込みください。

URL <http://www.mwt-mice.com/events/soudan2021>



## 配信動画視聴までの流れ

- (1) 「新規お申し込みはこちら」をクリック後、必要事項の入力が完了された方には、登録されたメールアドレスに「申込完了」のメールが届きます。  
※メールの受信拒否設定等をされている場合には、事前に、@mwt.co.jpからの受信ができるように設定を変更してください。  
※翌営業日を過ぎても「申込完了」のメールが届かない場合は、名鉄観光サービス株式会社 MICEセンターまで必ずご連絡ください。
- (2) 10月29日(金)までに登録内容の確認・変更・取消をされる場合、マイページからお手続きください。ログインの際には、初回申込時に登録されたE-mail アドレス(又は任意で設定されるID)とパスワードが必要になります。
- (3) 締切日以降の変更・取消は、上記サイトのお問い合わせフォームからの送信またはFAXにて、名鉄観光サービス株式会社 MICEセンターまでご連絡ください。お電話での変更取消は致しかねます。
- (4) 動画の視聴に必要な情報については、11月中旬にご登録いただいたメール宛にご案内いたします。
- (5) 参加費入金後の参加取消は原則として返金対応致しかねます。

## 動画視聴の留意事項

- (1) 配信動画の視聴における、PCやスマートフォン等の視聴に必要な機器、インターネット環境、セキュリティ対策、その他設備の準備は各事業所の責任において行ってください。
- (2) 動画の視聴に伴う通信料は申込事業所のご負担となります。
- (3) 配信動画の内容に関するご意見やご質問に対しては回答致しかねます。
- (4) 視聴者ご自身のPCやスマートフォン等のインターネット接続障害等によるトラブルについては、責任を負いかねます。安定したインターネット環境下でご視聴ください。
- (5) 配信動画の録画、録音、再配布等は禁止します。
- (6) セミナーの申込は事業所単位となり、配信動画の視聴は、申込事業所に限定します。申込みをしていない法人内の他事業所並びに他法人(事業所)に対し、動画の視聴に必要な情報や講師資料の共有、配布は禁止します。
- (7) 対応ブラウザ

▶パソコン……………Edge 最新 Chrome 最新 firefox 最新 Mac Chrome 最新 Safari 最新  
▶スマートフォン……………Android iOS

## ▶お問合わせ

### 〔研修全般に関すること〕

公益財団法人日本知的障害者福祉協会(古屋・三浦)  
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19  
KDX浜松町ビル6F  
TEL : 03-3438-0466 FAX : 03-3431-1803

### 〔お申込みに関すること〕

お申込・お問い合わせ先(旅行企画・実施)  
名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター(担当/下枝・野口)  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルロビー階  
TEL : 03-3595-1121 FAX : 03-3595-1119  
営業日時 平日9:30 ~ 17:30 土日祝祭日は休業